

地域づくり技術研究所活動報告

平成27年度 vol.1

『 中部ライフガードTEC2015 防災・減災・危機管理展 』に出展

平成27年5月21日・22日、ポートメッセなごやにて「中部ライフガードTEC2015 防災・減災・危機管理展」が開催されました。この催しは、防災意識の向上と防災・減災関係産業の振興を図ることを目的としています。当研究所は、これに出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。

■実施年月日

平成27年5月21日(木)・22日(金) 10:00~17:00

■実施場所

ポートメッセなごや2号館(名古屋市国際展示場)

■主催

名古屋国際見本市委員会(構成:名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所他)

■見学者

約200名

■実施内容

・映像上映

DVD「自然に学び、自然に備える～中部の自然災害からの教え～」

・パネル展示

右ブース: 明応地震・宝永地震・安政東海地震・濃尾地震など歴史的地震、
痕跡が伝えるもの

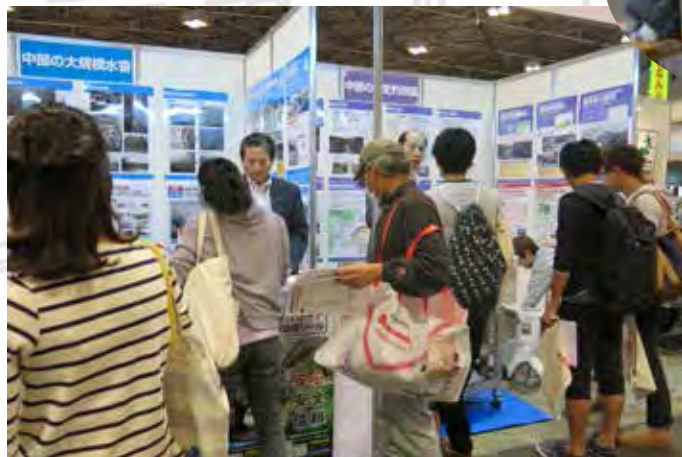
左ブース: 伊勢湾台風・東海(恵南)豪雨など中部の大規模水害、未来への備え

・液状化実験等

・啓発資料

近年の豪雨災害記録集2014

昨年に引き続き3回目の出展となり、パネル展示やDVD上映に加えて、体験型の防災啓発活動として液状化実験を行いました。特に本年は、東海豪雨15年の節目にあたり、東海豪雨の実態や課題などをパネルにて解説しました。液状化実験をご覧になられた方からは「自分の住む地域は大丈夫だろうか」などの声も聞かれ、関心を持たれました。パネル貸出等の問合せも複数いただきました。



地域づくり技術研究所活動報告

平成27年度 vol.2

『平成27年度 揖斐川連合総合水防演習・広域連携防災訓練』に出展

平成27年5月24日、大垣市内にて「平成27年度 揖斐川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」が開催されました。大災害発生リスクに備えて、揖斐川流域における洪水被害・大規模土砂災害・高潮被害を想定し、水防関係者の水防技能の習熟と防災関係機関が相互に連携した複合型災害に対する各種訓練による防災体制の確立を図ることを目的としています。当研究所は、この水防演習に出展し、この地域で発生した9.12豪雨災害（安八豪雨）などに関するパネルでの解説等を通じ、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。

■実施年月日

平成27年5月24日(日) 9:00~12:00

■実施場所

岐阜県大垣市今福町地先（揖斐川右岸河川敷）

■主催

国土交通省中部地方整備局、岐阜県、関係市町村 他

後援：一般社団法人中部地域づくり協会 他

■訓練参加者

約3,000名

■実施内容

・映像上映

DVD「自然に学び、自然に備える～中部の自然災害からの教え～」

・パネル展示

濃尾地震・昭和東南海地震・三河地震など歴史的地震、
昭和34年8月豪雨など岐阜・西濃地方の主な水害や東海豪雨などの中部の大規模水害、
痕跡が伝えるもの、地域を守る水防団等

・液状化実験等

・啓発資料

近年の豪雨災害記録集2014

今年度の水防演習では関係市町の消防団・水防団や大学生による水防工法の実施、小学生による水防工法体験などが実施されました。当協会ブースでは、液状化実験や岐阜西濃地方の主な水害のパネル展示等を実施したところ、明治29年大垣大洪水のパネルなどに訓練参加者の関心の目を引きました。



地域づくり技術研究所活動報告

平成27年度 vol.3

『平成27年度愛西市総合防災訓練』に参加協力

平成27年8月30日、愛西市親水公園他にて「平成27年度愛西市総合防災訓練」が開催されました。この訓練は、東日本大震災や伊勢湾台風等の過去の災害の教訓をもとに地域住民、自主防災会等の主体的な取組による訓練を実施し、防災知識の習得と防災行動力の向上により、地域防災力の強化を図ることを目的としています。当研究所は、この訓練に訓練に参加協力し、地域防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。

■実施年月日

平成27年8月30日(日) 7:30~9:30

■実施場所

愛西市親水公園、愛西市立永和小学校

■主催

愛西市

■訓練参加者

約300名

■実施内容(2会場)

・映像上映

DVD「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」

・パネル展示

濃尾地震・安政東海地震・昭和東南海地震の歴史的地震、痕跡が伝えるもの、

伊勢湾台風・東海(恵南)豪雨の大規模水害

・液状化実験等(但し、液状化実験装置は親水公園のみ)

訓練当日は雨天にもかかわらず、2会場ともに多くの方に見学いただき、液状化実験や高潮の実験などに興味を示されました。特に雲をつくる実験や高潮の実験には、何回も体験する子どもたちの姿が見られました。また、DVD映像「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」は、ステージ上の大型スクリーンにて上映され、多くの訓練参加者の関心の目を引きました。



親水公園



永和小学校

地域づくり技術研究所活動報告

平成27年度 vol.4

『 鬼怒川被災地調査 』を実施

平成27年9月に発生した台風18号にともなう記録的な大雨により、鬼怒川の堤防が決壊し、茨城県常総市などの住宅地で大規模な浸水被害が発生しました。当研究所は、鬼怒川の浸水被害の実態や水防の実施状況を把握することにより、中部地方における今後の災害対応への一助とすることを目的として、現地調査を実施しました。

- 実施年月日
平成27年10月14日(水)・15日(木)
- 実施場所
常総市鬼怒川流域一帯 他
- 実施内容
被災状況調査

大型土嚢による仮堤状況



破堤箇所付近の被災状況



破堤箇所の復旧状況
(鬼怒川左岸 20.75k)



川裏法尻の漏水対策状況
(鬼怒川右岸 38.75k)



川裏月輪工法の設置状況
(下流側から撮影)



川裏法尻の漏水対策状況
(鬼怒川右岸 41.75k)



地域づくり技術研究所活動報告

平成27年度 vol.5

『建設技術フェア2015 in 中部』に出展

平成27年10月21日・22日、吹上ホールにて「建設技術フェア2015 in 中部」が開催されました。この催しは、産学官の技術の交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を紹介することを主な目的としています。当研究所は、これに出展し、液状化実験・DVD上映及びパネル展示等を通じて、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。

■実施年月日

平成27年10月21日(水)・22日(木)

■実施場所

吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)

■主催

国土交通省中部地方整備局、名古屋国際見本市委員会(構成:名古屋市、愛知県他)

共催:(一社)中部地域づくり協会、(公社)土木学会中部支部

■来場者

約14,000名(2日間)

■実施内容

・映像上映

DVD「自然に学び、自然に備える～中部の自然災害からの教え～」

「中部地方を襲った自然災害の記録」

「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」

・パネル展示

濃尾地震・安政東海地震・昭和東南海地震の歴史的地震、

昭和34年8月豪雨など岐阜・西濃地方の主な水害や東海豪雨など中部の大規模水害、

岐阜大学との共同研究に関するパネル

・液状化実験

・啓発資料

近年の豪雨災害記録集2014

建設技術フェアは、当研究所の継続的な活動として平成22年より参加しており、今回で6回目の出展となりました。出展テーマを「大規模災害に学ぶ地域防災力の強化」と題し、中部の歴史的地震災害から得た教訓を継承し、南海トラフ巨大地震に備えるべく防災意識を深めることを目的に実施したところ、濃尾地震に関するパネルの解説や液状化実験に関心を持たれました。

